

平成25年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」検証シート

大阪市立 豊新小 学 校

児童数

76

平均値

	種目別平均								
	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ボール投げ	体力合計点
男子	17.14	18.71	31.33	38.26	44.32	9.25	146.27	23.02	51.94
大阪市	16.45	19.14	32.01	38.22	47.80	9.38	149.19	23.45	52.26
全国	16.63	19.54	32.74	41.41	51.41	9.38	152.07	23.19	53.87
女子	17.10	17.00	35.18	33.32	29.10	9.83	133.79	14.53	49.92
大阪市	16.00	17.41	36.30	35.86	36.32	9.65	140.82	14.06	52.84
全国	16.14	18.06	36.87	39.06	39.66	9.64	144.55	13.94	54.70

結果の概要

全国、大阪市の平均をともに上回っているのは、男子が握力と50m走、女子が握力とソフトボール投げである。
 その他の6種目については、すべて男女とも全国、大阪市の平均を下回っている。
 特に、反復横とびとシャトルラン、立ち幅跳びについては、男女とも全国の平均を大きく下回っている。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

児童がより進んで運動に親しみ、楽しく意欲的に活動することができるように取り組んできた。
 その一つとして、休み時間には、クラスで工夫した運動遊びを実施したり、朝の運動の時間を確保したりして、体を動かす機会を増やすことにより、児童の総合的な体力向上をめざしてきた。
 特に前年度の課題であった走力の向上をめざし、体育の授業では、導入時に体づくり運動や遊びの要素を取り入れた「鬼ごっこ」や「ネコとネズミ」などの活動を行い、運動への興味・関心、意欲を高めるようにしてきた。また、走力、跳躍力を高めるために「ケンケン鬼ごっこ」や「大また走り」などの運動を体育の授業に多く取り入れるようにしてきた。その結果、男子50mにおいて、全国、大阪市の平均を上回る結果を得ることができた。
 課題としては、反復横とび、シャトルラン、立ち幅跳びの数値が全国平均を大きく下回っていることから、敏捷性や持久力、跳躍力の向上が望まれる。

小学校男子 基本的生活習慣・運動のきっかけ

結果の概要 「朝食を食べますか」については、毎日食べている児童の割合が全国平均より少ないが、大阪市平均よりは多い。食べない日がある児童の割合は、全国平均より多いが、大阪市の平均よりは少ない。毎日食べない児童の割合は、全国、大阪市のいずれの平均よりも多い。

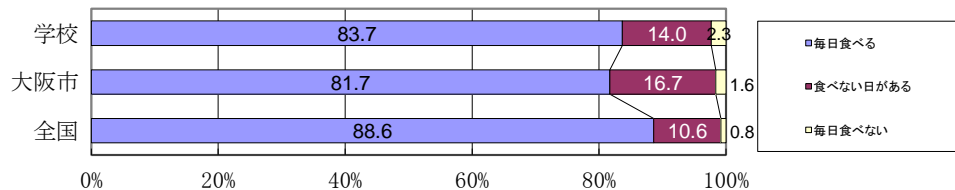
「1日の睡眠時間」については、6時間未満の児童の割合が、全国、大阪市いずれの平均よりも少ない。6時間以上8時間未満の児童の割合は、全国、大阪市いずれの平均よりも多い。8時間以上寝ている児童の割合は、全国、大阪市いずれの平均よりも少ない。

運動のきっかけについては、どの項目においても全国、大阪市の平均を大きく下回っている。

質問番号 質問事項

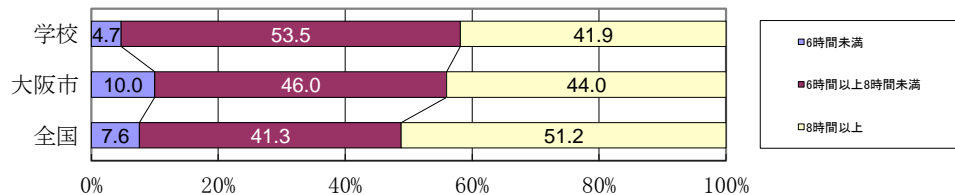
9

朝食は食べますか



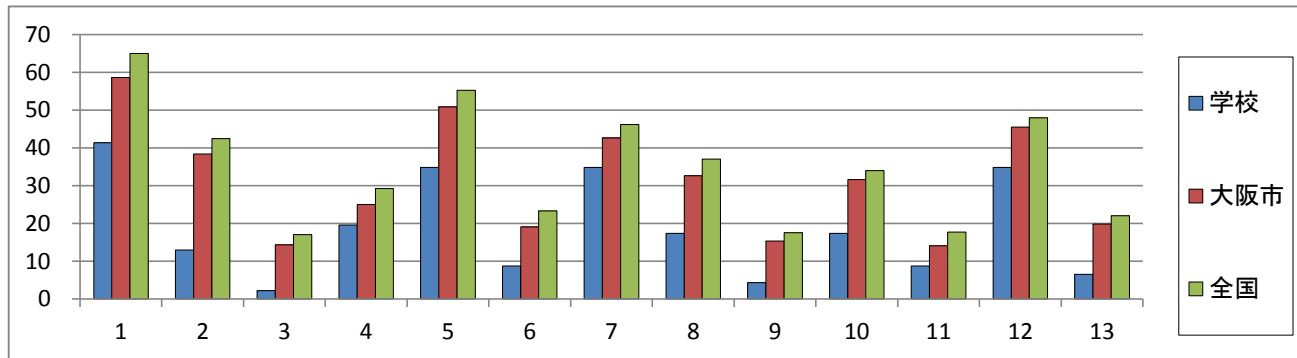
10

1日の睡眠時間



12

今後どのようなことがあれば、今よりもっと運動やスポーツをしてみようと思いますか。



成果と課題 保健室から出される「ほけんだより」等において指導してきているので、毎日食べる児童の割合が、平均程度であることが成果と言える。毎日食べない児童の割合がやや多いことが課題である。

学級指導等において、睡眠時間についての指導してきているので6時間から8時間の睡眠時間が確保できている。8時間以上睡眠をとっている児童が少ないのが気がかりである。

様々なきっかけがあったとしても、もっと運動やスポーツをしてみようと思う児童が少ないことが課題である。

今後の取組

引き続き学校において、指導を続けていきたい。朝食を「毎日食べない」児童が2.3%いることや、「8時間以上睡眠時間をとっている」児童が少ないこと、「家族と一緒にできたら」もっと運動やスポーツをしてみようと思う児童の割合も少ないことなどから、さらに家庭と連携をとり協力しながら、より効果的な取り組みができるように工夫していきたい。

小学校女子 基本的生活習慣・運動のきっかけ

結果の概要 「朝食を食べますか」について、毎日食べている児童は全国、大阪市の平均より少ない。食べない日がある児童は、全国、大阪市いずれの平均よりも多い。毎日食べない児童は、0%である。

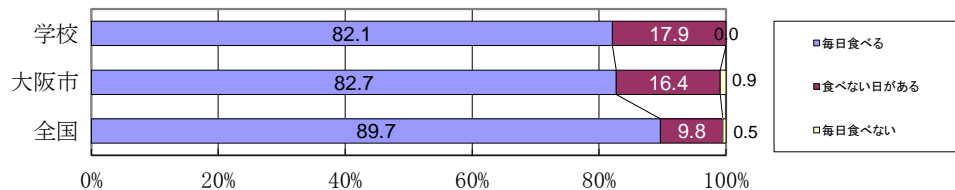
「1日の睡眠時間」については、6時間未満の児童が0パーセント。6時間以上8時間未満の児童の割合は、全国、大阪市いずれの平均よりも多い。8時間以上の児童の割合は、全国平均よりわずかにばかり少ないが、大阪市平均よりは多い。

運動のきっかけについては、「5」の項目が全国平均と同じくらいの割合である。その他の項目についてはすべて、全国、大阪市の平均を下回っている。

質問番号 質問事項

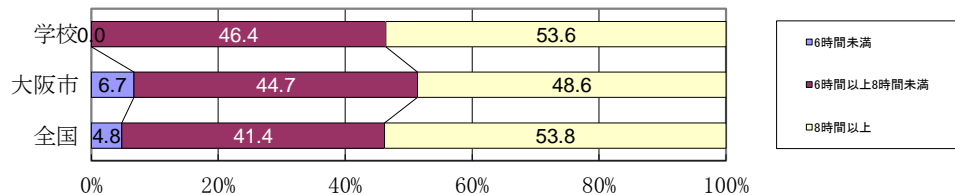
9

朝食は食べますか



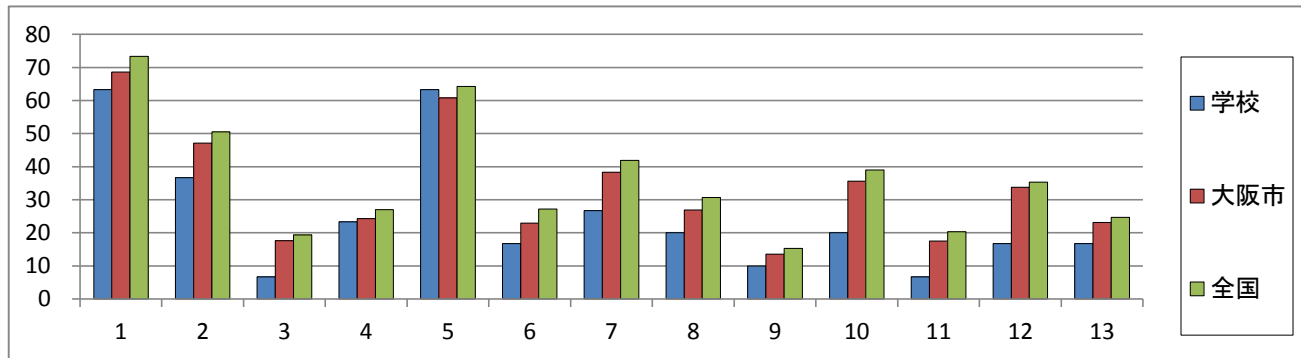
10

1日の睡眠時間



12

今後どのようなことがあれば、今よりもっと運動やスポーツをしてみようと思いますか。



成果と課題 保健室から出される「ほけんだより」等において指導してきているので、毎日食べない児童の割合は0%である。毎日食べる児童の割合が全国、大阪市の平均より少ないことが課題である。

学級指導等において指導してきているので、6時間以上の睡眠時間は確保できている。

「友達と一緒にできたら」もっと運動やスポーツをしてみようと思うのは、研究主題に沿って仲間との関わりを大切にして指導してきた成果である。その他の項目についても、ポイントを伸ばせるように努めていく。

今後の取組

引き続き学校において、指導を続けていきたい。いろいろなきっかけに対しても、なかなか意欲的にならない児童にとって、より効果的なきっかけを与えることができるように工夫していきたい。それと同時に、家庭との連携をとり、協力しながら、児童がより運動やスポーツをしてみようと思う取り組みを工夫していきたい。

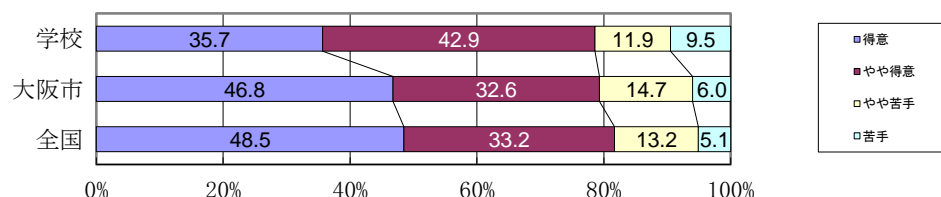
小学校男子 運動・スポーツに対する意識

結果の概要 「運動やスポーツをすることが得意ですか」の質問項目については、5年生、1、2年生の頃ともに「得意」と答えた児童の割合が全国、大阪市の平均より大きく下回っている。「やや得意」と合わせると、平均程度の割合がある。5年生、1、2年生の頃ともに「苦手」と答えたの割合は、全国、大阪市の平均より多い。

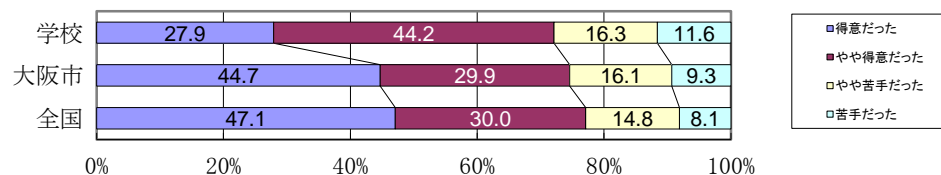
「運動やスポーツをすることが好きかどうか」の項目について、5年生では、「好き」や「やや好き」と答えた児童の割合が全国、大阪市の平均より低い。小学校1、2年の頃は「やや好きだった」の項目が、全国、大阪市の平均より多い。

質問番号	質問事項
------	------

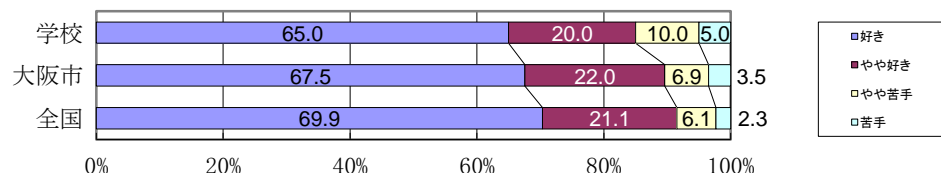
13
運動やスポーツをすることは得意ですか



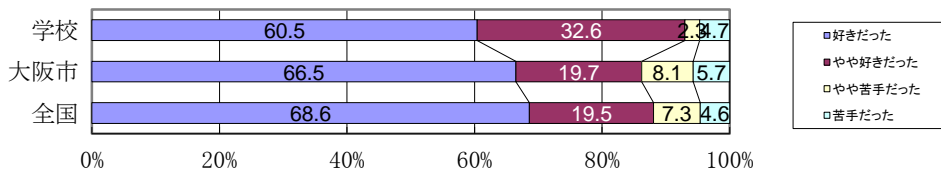
26
小学校1、2年生のころは運動やスポーツ、運動遊びなどをすることが得意でしたか



14
運動やスポーツをすることは好きですか



27
小学校1、2年生のころは運動やスポーツ、運動遊びなどをすることが好きでしたか



成果と課題 「得意」、「やや得意」を合わせると、1、2年の時より増えているので、5年生になってスポーツを得意と感じる児童は増えている。

小学校1、2年のころは運動やスポーツ、運動遊びなどをすることが好きであったが、5年生になってその割合が減っていることが気にかかる。「好き」、「やや好き」を合わせても5年生になってその割合が減っていることが課題である。

今後の取組

運動やスポーツをすることが好きと感じる指導法を工夫し、自ら時間を見つけて運動やスポーツを実践する児童の育成に努める。運動経験を増やすことで技能の上達を目指すと共に、できるようになったことを認める言葉かけや上達を実感できるような手立てを工夫し、運動、スポーツが得意と思える児童を増やすようにする。

小学校女子 運動・スポーツに対する意識

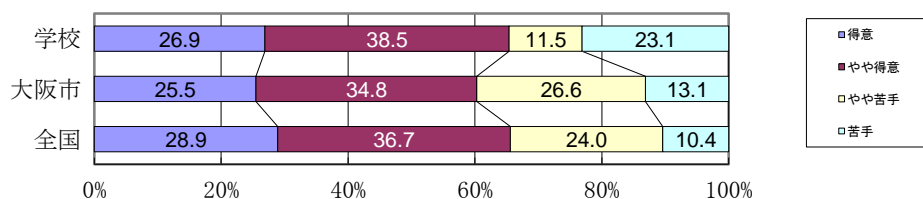
結果の概要

「運動やスポーツをすることが得意ですか」の質問項目について、1、2年生の頃に「得意」、「やや得意」と答えた児童の割合が全国、大阪市の平均より下回っている。5年生では、全国平均とほぼ同レベルである。大阪市の平均よりは上回っている。

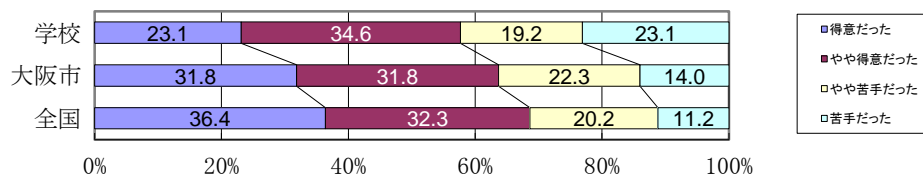
「運動やスポーツをすることが好きかどうか」の項目について、5年生、1・2年生の頃ともに、「好き」や「やや好き」と答えた児童の割合が全国、大阪市の平均より大きく下回っている。

質問番号	質問事項
------	------

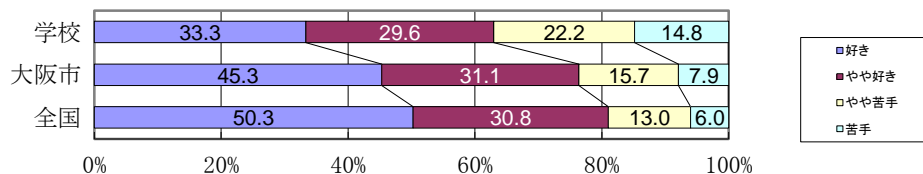
13
運動やスポーツをすることは得意ですか



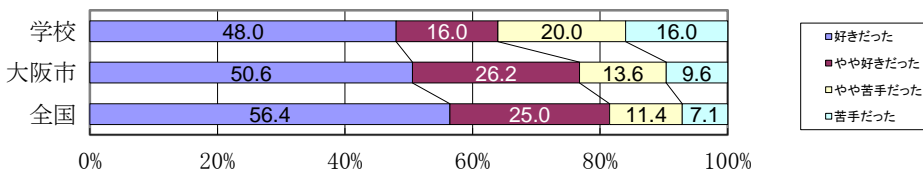
26
小学校1、2年生のころは運動やスポーツ、運動遊びなどをすることが得意でしたか



14
運動やスポーツをすることは好きですか



27
小学校1、2年生のころは運動やスポーツ、運動遊びなどをすることが好きでしたか



成果と課題

「運動やスポーツをすることが得意」、「やや得意」と答えた児童が、1、2年の頃より5年生になって増えていることが成果といえる。

「運動やスポーツをすることが好きですか」の項目では、「好き」、「やや好き」を合わせても、5年生、1、2年の頃ともに全国、大阪市の平均を下回っていることが課題である。

今後の取組

運動やスポーツにおいて、できるようになることが増すように指導法を工夫し、「得意」と感じられる児童の割合をさらに増やしていくようにする。

運動やスポーツにおいて「好き」と感じる児童がさらに増えるように、興味・関心がわき、楽しみながら取り組めるような教材づくりを工夫していく。

今後どのようなことがあれば、今よりもっと運動やスポーツをしてみようと思いますか。

- 1 自分が好きな種目、できそうな種目があったら
- 2 上手にできなくても自分のペースで運動やスポーツを行うことができたから
- 3 授業でていねいに教えてもらえたら
- 4 一人でもできるものがあったら
- 5 友達といっしょにできたら
- 6 家族といっしょにできたら
- 7 いつでも自由に使えたり遊べたりする場所があったら
- 8 学校の中で自由な時間があったら
- 9 自分の体力、運動能力や体のことで不安なことがあったら
- 10 友達にさそわれたら
- 11 先生や家族からすすめられたら
- 12 運動やスポーツで活やくしている選手、有名人に教えてもらえたら
- 13 体型の変化に効果があると分かったら